

警察公論セレクション

広域技能指導官への道

澁澤敬造

技術はもちろんのこと、
魂も伝承させる

元警察庁指定広域技能指導官であり、
交通鑑識のプロフェッショナルに学ぶ。

電子限定版



立花書房

警察公論セレクション

広域技能指導官への道

澁澤敬造

はしがき

本書は、令和4年8月から10回にわたり株式会社立花書房「警察公論」において連載した「広域技能指導官への道」を単行本（電子書籍）としたものです。

交通鑑識という分野は、事故現場での冷静な判断や、詳細な証拠収集に加え、科学的な考察によって事故状況を解明するという役割を持っています。その技術を身につけるにも大変な努力を要します。さらに、広域技能指導官とは、他の職員が持ち得ない卓越した技能を有すると、警察庁長官に認められることが必要です。私が指定された専門的技能の欄には「微物からの車両特定、車両火災捜査に卓越」と記載されています。広域技能官制度は、ドイツのマイスター（職人）という制度を参考に作られた制度で、警察における人間国宝として弟子作りが求められる終生の指定です。誰も持っていない技術を身につけるには、警察という組織の枠にとどまらず、学会に参加し産官学の研究に触れ、メーカーとのつながりを深め、意見を交わし、時には組織から批判を受けながらも、多くの先進的な技術を身につける必要があります。また、自身の解析結果が公判にどのような影響を及ぼすのかについて、経験と反省に立った洞察力も身につけなければなりません。

交通鑑識の基本については、「交通事故実況見分調書作成実務必携」((株)立花書房)を執筆したところですが、交通事故鑑定のマニュアル、公判対策についても取り纏め中ですし、本書で文字にできない行間の思いや起業に向けた取り組みなどを講演することで、魂の伝承もさせていただきたいと思います。

本書によって、私がどのように技術を磨き、組織の枠を越えた学びや人脈作りがどれほど重要であったか、直面した批判や困難をどのように乗り越えたのか、それが今の自分にどう影響したのかを知っていただければ幸いです。組織の枠を飛び出し、とんがり続けるには、確信を持って自分の信じる道を歩むしかありません。私の確信は「死者の無念、遺族の怨念に応える仕事」で、命に向き合うことです。その確信は今も続き、全国の事案に対応する交通事故鑑定、公判対策で会社を経営しています。

本書が、交通鑑識を目指そうという方、分野はともかく広域技能指導官になりたいという方々のお役に立つことを願っています。さらには、定年後、自分のやりたいこと、好きなことを仕事として、自分のペースで終焉まで楽しめることが豊かな人生だと思います。そのためには、夢に近づくりスキリングが必要だと気づいていただければ、望外の幸せです。

元警察庁指定広域技能指導官（交通鑑識）

株式会社交通事故調査澁澤事務所 代表取締役

澁澤 敬造

目次

第1回	交通鑑識に舵を切ったエピソード	1
第2回	「交通事故の解明」を極めたいと心に決めた事件	7
第3回	交通鑑識の船出	13
第4回	続・交通鑑識の船出	19
第5回	交通鑑識の在り方	25
第6回	続・交通鑑識の在り方	32
第7回	広域技能指導官の指定	39
第8回	プリウスロケットについて知っておこう!	45
第9回	後に続く者たちへ	51
第10回(完)	続・後に続く者たちへ	58
	執筆者プロフィール	67

※ 本電子書籍は、『警察公論2022年8月号(第77巻第8号)』から
『警察公論2023年5月号(第78巻第5号)』掲載分と同じ内容です。

広域技能指導官への道

第1回 交通鑑識に舵を切ったエピソード

株式会社交通事故調査澁澤事務所代表取締役
元宮城県警察本部交通部高速道路交通警察隊
元警察庁指定広域技能指導官（交通鑑識）

しがさわ けいそう
澁澤 敬造

1 進路を決めたいきさつ

「君たちは、その分野において、他の追随を許さない特出した技能を有していると、国家が認めた職人であるが、頂点を極めたと思わず、更なる高嶺を目指し、産官学に飛び込んで、進化する最新の技術を獲得して組織に還元するとともに、県境を越えて全国でその技術を活用し、伝承して、その魂を受け継ぎたいという後継者を発掘してほしい。」

これは、折りにつけ警察庁長官から訓示され、それぞれの広域技能指導官が心に誓っている行動指針です。

時代はデジタル、グローバルといった「域」「時」の壁のない、新たな文明の入口に差し掛かっており、その中で犯罪検挙・抑止、域内外の安全・安心の創成が求められています。私も4つの交通系学会に参加し、最新の研究に触れ、警察業務への活用を模索しながら交通鑑識技術の開発にも勤しんでいます。

ちなみに、長官からは

「指導官の指定は、終生のもの。退職後も、引き続き活躍してほしい。」



誇り高き広域技能指導官のピンバッジ

との訓示も受けています。私は、本年3月末に還暦退職しましたが、幸いにも本誌連載の機会を頂きました。連載を通じて、魂の一端をお話しさせていただきますので、行間の思いまでも読み込んでいただければ喜びと感じます。

さて、連載のタイトル「広域技能指導官への道」ですが、どのようにして指定されたのかと興味を抱いている方もいらっしゃるでしょうから、まずは、なれそめのようなものからお話ししたいと思います。

「治安の維持を志して。」

と、昭和55年に宮城県警察官を拝命した私ですが、本心では「西部警察」というテレビドラマに憧れて、

「スポーツカーのパトカーに乗りたい。」

と、元来の車好きが高じての奉職だったのです。警察学校を卒業する頃には、自動車交通に関わる業務ということで、白い帯革への憧れも芽生えてきて、交通警察を目指すようになっていました。

その後、A級ライセンスを取得し、サーキットでマイカーを飛ばしていた私は、業務では高速道路で赤色灯を点灯させ、違反車両を追跡する高速隊で巡査部長として勤務するようになりました。

そして、交通取締りに明け暮れていた頃、

「若いときの苦勞は買ってでもしなさい。」

と、当時の隊長から指導され、先進警察出向研修という交通捜査を学ぶ1年間の武者修行に、第1期生として応募することとなりました。

事件捜査の経験のない私でしたが、研修先の埼玉県警察交通特捜班では、捜査手続の基礎から最新の交通捜査手法に至るまで、二人一組の捜査班にプラスワンとして組み入れられ、公私にわたって、文字どおり手取り足取り指導していただきました。

ひき逃げ捜査では、それまで聞いたこともないような手法の部品捜査が展開され、ドラマでも見ているかのよう



武者修業中、東京駅を背景に（右側が筆者）

なスピード感で事件が検挙されていくのです。実際に、都内はもちろん、捜査用車両を飛ばして愛知の工場まで転進し、小指ほどのプラスチック片から素材を分析してもらい、車種を特定し、グレードまで絞り込んでいきます。ある死亡ひき逃げ事件の車当たり捜査では、部品の欠片を照合した途端、被疑者が土下座して震える姿に、

「映画のワンシーンを見ているようだ……。夢じゃないよな？」

と不思議な感覚に襲われました。

ひき逃げ事件捜査の裏では、自動車メーカーや部品工場等との人脈も活用するという職人技を知って、まさに目から鱗の研修となり、

「警察人生、部品捜査の技術を極めたい。」

と、ひき逃げ事件捜査に対して憧れを募らせていった日々を昨日のこのように覚えています。そして、あのとき抱いた憧れが、今も私の心を支えているのです。

2 交通鑑識の一つである「部品捜査」

交通部門以外に所属する読者の方もいらっしゃると思いますので、車種特定について少しお話しします。最近では、ドライブレコーダーや防犯ビデオからの車種特定が多くなっていますが、映像のない場合には塗膜片や遺留部品から車種特定を行うわけですから、古来の捜査手法とはいえ、その技術を維持しておかなければなりません。

先にお話しした部品の素材分析については、科捜研ではなく部品メーカーにお願いした例なのですが、あるとき、部品メーカーに足を運ぶと、

「この素材は、カーボン含有率からすると当社の部品ではなく、〇〇社の部品の可能性がある。」

と技術者が言いました。他社の情報も持っているわけです。そこで、その〇〇社に行くと、今度は、

「当社のもので、金型の傷から……。」

と、まさかと思う根拠から、車種どころか年式まで割り出してしまったのです。

また、捜査の過程における聞込み時の姿勢も勉強になりました。班長は、技術者に質問するときに、知っていることであっても、知らないふりをして教わ

執筆者プロフィール

澁澤 敬造 (しぶさわ けいぞう)

元警察庁指定広域技能指導官 (交通鑑識)

事故捜査・交通鑑識捜査歴35年 広域技能指導官歴12年

【主な経歴】

昭和55年4月 宮城県警察官拝命

平成2年4月 埼玉県警察出向 交通指導課交通特捜班配置

平成3年4月 宮城県警察本部交通指導課 交通事件捜査班配置

平成10年3月 宮城県警察本部交通指導課 交通事故捜査係配置

平成14年3月 宮城県警察本部交通指導課 交通鑑識係新設配置

平成17年4月 宮城県警察本部交通鑑識技能指導官指定

平成22年4月 警察庁広域技能指導官 (交通鑑識) 指定

令和4年3月 宮城県警察官定年退職

令和4年5月 株式会社交通事故調査澁澤事務所設立 代表取締役就任

【主な著書】

令和5年4月 『交通事故実況見分調書作成実務必携～交通事故実況見分のポイント～』
(編著、立花書房)

【主な資格】

元警察庁指定広域技能指導官 (交通鑑識)

日本交通心理学会認定 交通心理士

旅客自動車運送事業運行管理者資格者

貨物自動車運送事業運行管理者資格者

警備員指導教育責任者資格者 (1～4号)

その他、日本防災士、行政書士等

【株式会社交通事故調査澁澤事務所】

<https://www.tsp-tokyo.com>



〒112-0002

東京都文京区小石川4丁目17番1-201号

(最寄駅：東京メトロ丸ノ内線 茗荷谷駅)

電話 03-6240-0434

FAX 03-6240-0435

mail shibusawa@tsp-tokyo.com

【事業内容】

「交通事故事件の調査・鑑定」

交通事故調査担当者に対する交通鑑識技術の指導教養

「交通事故防止コンサルティング」

交通の教則から導出した新しい交通安全メソッドの開発・普及

「交通心理カウンセリング」

交通心理学によるコーチング・交通安全セミナー

「交通系4学会での捜査研究」

(一社) 日本交通科学学会

日本交通心理学会

日本法科学技術学会

(公社) 自動車技術会

【創業者挨拶】

創業者は、30年以上交通鑑識官として交通事故鑑定を行い、50件を超える刑事裁判を戦ってきた経験がございます。豊富な交通警察経験と、交通心理学によって、交通の教則を超える新たな交通安全メソッドも開発しました。

弊社は、「被害者の無念に応える正義の実現」と、「道路交通において世界一安全で安心な社会の実現」を目指します。

大切な未来を守るため、弊社を御活用いただければ、望外の幸せでございます。

★本電子書籍は、『警察公論2022年 8月号(第77巻第 8号)』から『警察公論
2023年 5月号(第78巻第 5号)』までの掲載分を基に制作しました。
本電子書籍の全部または一部を無断で複写複製(コピー)することは著作権法
上での例外を除き、禁じられています。

警察公論セレクション
広域技能指導官への道【電子限定版】

令和 7 年 3 月 1 日 電子書籍発行

著 者 澁 澤 敬 造
発 行 者 橘 茂 雄
発 行 所 立 花 書 房
東京都千代田区神田小川町3-28-2
電 話 03(3291)1561(代表)
FAX 03-3233-2871
<https://tachibanashobo.co.jp>